

授業科目名	教師教育論
科目番号	CB24191
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春AB秋AB 月1
担当教員	朝倉 雅史
授業概要	教員の養成・採用・研修を連続的に捉える「教師教育」という概念がなぜ誕生したのか、どのように変遷してきたのか。「優れた教師」は偶然の産物ではなく、時代と社会の変化の中でつくられてきた。この講義では、教師教育に関わる制度と文化、政策について基本的な知識を学ぶ。そして教育や学校の在り方から教師教育を問うと共に、教師教育の在り方から教育や学校の在り方を問う視点を養う。
備考	対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識 教育学における総合的思考力 教育学に関する先導的発信力
授業の到達目標（学修成果）	(1) 教員の養成・採用・研修に関する仕組みを説明することができる (2) 教師教育をめぐる現代的課題について考察し、自らの意見を述べることができる。
授業計画	前半は、教員の養成・採用・研修を連続的に捉える「教師教育」という概念がなぜ誕生したのか、どのように変遷してきたのか、そして教師個人の発達や力量形成とその支援体制について理解を深める。後半は、教師教育をめぐる制度や政策に視野を広げ、その現代的課題について考えを深めていく。 第1回 「教師」と「教師教育」 第2回 教師教育の歴史と理念 第3回 教職の特殊性・教員の専門性 第4回 教師観と資質能力の変遷 第5回 教師の職業的社会化 第6回 教師の発達と力量形成 第7回 授業・教科と教師教育 第8回 教員文化と教師文化 第9回 「教師の学び」という考え方 第10回 教員の質保証をめぐる動向 第11回 教員養成制度の歴史と構造 第12回 教員養成の仕組みと実際 第13回 大学における教員養成の課題 第14回 教員の選考と採用の仕組みと特殊性 第15回 教員の需要と供給を左右するもの 第16回 教員採用をめぐる現代的問題 第17回 教員研修の意義と考え方 第18回 教員研修制度改革の変遷 第19回 教師教育改革の変遷と課題 第20回 教師教育の研究課題
履修条件	特になし
成績評価方法	毎回の授業で提出してもらうリアクションペーパー（10%）、授業内ワークシート（20%）、春学期2回・秋学期1回の中間レポート（30%）、最終レポート（50%）から、講義内容の理解度を評価する。

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	各回の授業内容についてリアクションペーパーに記入した内容を振り返りながら復習を行うこと。また、次回の予告内容に応じて事前に情報収集を行っておくこと。
教材・参考文献・配付資料等	講義50分、ワークやディスカッション25分とする。指定教科書はありません。配布資料をもとに授業を進めますが、入手が必要な資料は事前に指示します。なお、参考文献は以下のとおりです（その他の資料は適宜紹介します）。 1. 吉田武男監修・編著『MINERVAはじめて学ぶ教職2 教職論』（ミネルヴァ書房,2019年） 2. 日本教師教育学会編『教師教育研究ハンドブック』（学文社,2016）
オフィスアワー等（連絡先含む）	オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから来室してください。
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	公教育を支える専門的人材（教員）をいかに確保するかは社会全体の課題です。教職を志望するか否かにかかわらず、教育学の基礎的教養として本講義を受講してください。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	教員の養成・採用・研修、教師の学び、教員の専門性と専門職性、教師教育政策